



みやぎ視能訓練士の会
The Association of Miyagi Orthoptists



9月号の会報をお送りします。

～内容～

- | | |
|----------------------------|-------|
| ① <報告>「令和3年度児童生徒の近視実態調査」報告 | P2-P6 |
| ② <お知らせ>2021年度第1回全体会のお知らせ | P7 |

☆☆会報に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい☆☆

〒981-3627 宮城県黒川郡大和町吉岡東 2-8-10

かとう眼科医院 川上綾子

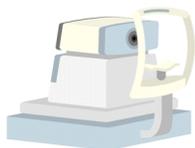
TEL 022-347-1682 FAX 022-347-1683

mail koho@myg-ort.com



koho





「令和3年度児童生徒の近視実態調査」レポート

1)調査までの流れ

*1月 : 日本眼科医会 日本視能訓練士協会 文部科学省より近視調査依頼

*3月4日 : 第1回説明会(加藤圭一先生:日眼医) ZOOM対応

・みやぎ視能訓練士の会運営委員・宮城県調査スタッフ・調査対象校教員対象ミーティング

*3月24日・27日 : みやぎ視能訓練士の会会員向け近視調査勉強会
ZOOM・you tube対応(担当:小野寺)

・加藤先生の講義動画と質問取りまとめ ⇒ 検査員募集開始

*4月13日 : 東京近視調査報告勉強会(南雲会長・丸林理事) ZOOM対応
(東北・近畿近視調査スタッフ対象)

*5月6日 : 第2回説明会(加藤圭一先生) ZOOM対応(担当:小野寺)

2)実態調査実施地域 : 宮城県富谷市の小・中学校

東向陽台中学校 2021年 6月10日 430名

明石台小学校 6月17日 341名

東向陽台小学校 6月24日 588名



担当視能訓練士はそれぞれ8~9名、検査補助として看護師、その他スタッフが8名で検査にあたりました。

他覚的屈折値 (TOPCON KR800A) : 4台

眼軸長測定 (ZAISS IOL マスター 700) : 4台にて最長2分間の検査時間で測定

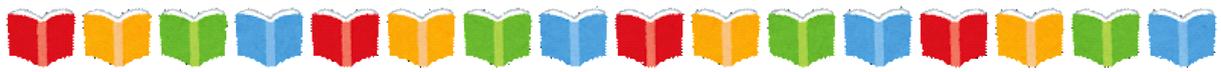


東向陽台小学校検査スタッフメンバー



実際の検査の様子

おつかれ
さまでした!



日本視能訓練士協会や眼科医会からの依頼を受けてからは、小野寺さんを中心に ZOOM・you tube 対応による勉強会を得て、参加メンバーを募集しました。みやぎ視能訓練士の会としてもコロナ禍で行った新しいスタイルで勉強会に取り組むことができたのは小野寺さんの力が大きかったと思います。参加した皆さんのご協力のおかげで、無事近視調査を終えることができました。この場をお借りし、お礼申し上げます。継続事業になると考えておりますので、今後もたくさんの方の会員の皆さんにご協力いただけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。



文責：東北大学病院 高津 育美

近視実態調査 みやぎ視能訓練士の会会員担当スタッフ 感想 2021.8.10

まず、体育館で検査順に並ぶ練習をわざわざ朝行ったださる等、学校の先生方の協力体制に感銘を受けました。小学生はもっと検査が難しいと思っておりましたが、IOL マスター（眼軸）は意外に上手に検査できるものだと言いました。チーム宮城！！が炸裂してコミュニケーションをとりながら、検査できて楽しかったです。タッチパネルがなかなか反応しないので、タイムロスに繋がってしまったのが心残りに思っております。これが近視調査のデータベースの一部なり、今後の検討データになること興味深く思っております。非常に良い経験になり、このような機会を与えていただいた日本眼科医会、視能訓練士協会関係者の皆様に感謝しております。ありがとうございました。
(東北大学病院：高津育美)

近視調査につきましてはとても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。気づいた点としては、学校側のサポートがとても大切だと感じました。1週目の中学生の時よりも、2週目の小学生のほうが検査しやすく感じたのは、学校側で事前に詳しく説明をしてくださっていたり、赤白帽の着用指導をしてくださっていたりしたことが大きいと思います。
(F.T)



今回、大規模な調査に携わる事ができてとても光栄に思いました。最近では調節緊の子供がとても増えていると感じていました。普段の検査では調節がなかなか取れず、視力検査等に頭を悩ませることも多くあります。今回の調査ではレフケラと眼軸を測定しての近視の実態調査とのことで、結果ができれば今後の子供の視力検査や眼鏡合わせにも役立てる事ができるのではないかと考えています。今回のような調査に参加するのは初めてで不安もありましたが整った環境でスタッフの皆さんのサポートもあり安心して調査に参加する事ができました。貴重な調査にスタッフとして参加させて頂いたことに感謝いたします。

(板橋眼科：坂本葉子)

被検者の椅子をパイプ椅子から丸椅子にすることで検査しやすくなった印象でした。よりスムーズにする為に、固視する目標がどんなものなのか予めわかってもらうと良いと思いました。レフケラで言えば赤い絵の画像を検査前並んでいる時点で見てもらうなど。ただ、全体的にスムーズで良かったと思います。

(やすい眼科:音羽雄太)



コロナの中ではありましたが、大きな問題もなく終わることができて良かったと感じています。今回は眼軸長測定を担当させていただき、屈折検査からまわってくる子ども達の待ち列ができないように気を付けてはいましたが、測定後からデータ確認までの時間が思いの外かかり、列ができてしまったことが反省点です。

(東北文化学園大学：原口翔太)



眼軸長測定を担当しましたが、想像していたよりも多くの子供達の眼軸が長めだった事に驚きました。また課題としては、2分以上測定に時間が掛かっている場合でも周りから中断の声掛けをするのは難しいと感じました。今回は想定よりもスピーディーに検査を終えられましたが、今後別の調査をしていく際の課題かなと感じました。

テレビで調査について報道された事は眼科の他のスタッフも観ており、このような活動の積み重ねが視能訓練士の知名度と地位の向上に繋がると実感しましたので、今度も出来る限り参加していきたいと思います。 (古川中央眼科：小野寺真司)

当日はIOLマスターを担当させていただきましたが、通常学級、支援学級問わず全員検査が上手でした。測定できなかった症例がいなかったため、小学生の検査の上手さと共に機器の進歩も非常に感じました。小学校1年生から6年生まで(だいたい6~12歳?)このように検査がスムーズに進んだことから、日々の外来でも眼科嫌いの子がちょっとでも上手にできる工夫を考えていけたらよいなと思いました。また、看護師さんの適切な補助もあいまっての円滑さだと思っておりますので、検者間でのコミュニケーションというのも大切であると感じました。大変有意義な時間を過ごすことができました。 (東北大学病院：蒲倉沙也加)

検査をする際に、看護師さんの補助があったからこそスムーズに行え、連携することで滞りなく終わられたのだと思っています。今回の調査を通じて改めて連携すること(コミュニケーション)の大切さを学びました。臨床とはまた違った経験ができて、とても良かったです。検査をするのが好きなので、今後機会があればぜひ宜しくお願い致します。

(東北大学：加藤千穂)



調査はほぼ同じメンバーで行ったため、流れを把握していて毎回の調査がスムーズにいったのではないかと思います。また、検査中に顔が動いてしまうお子さんや前髪が目にかかっているお子さんが多かったため、検査補助の方がいるのが大変助かりました。気付いた点は、レフ測定時中学生のお子さんよりも小学生のお子さんの方が、マイヤーリングがぼやける確率が高かった印象があります。

(あかいし台眼科：伊藤沙奈)



3回の調査とも大きな問題もなく、予定時間より早めに終了できるほどスムーズな流れでした。これも、加藤圭一先生や二本柳会長による事前の講義や打ち合わせなどの準備、学校の先生方の生徒への指導、調査に関わる視能訓練士や看護師、眼科スタッフ、運営の方々の連携による、チームプレーの賜物と思います。当日だけでなく、Webでの打ち合わせなど、他施設の参加者との交流もあり、よい刺激になりました。今回の活動を通して、今後も視能訓練士が臨床現場から出て活動する機会が増え、少しでも知名度を上げ、職域を広げていくこと、そして多くの視能訓練士がこのような活動に参加できるよう、周囲の理解など環境が整うことが必要だとあらためて感じました。

(東北文化学園大学：安達いづみ)

調査では私は介助にまわったので、あまり貢献はしていません。全く皆様のご尽力での結果と思います。まさかこんなに上手くいくとは思っておらず、もっとこういう分野で視能訓練士は活躍すべきなのだと認識を新たに致しました。検査の皆さんも新しい発見をされているといいなと思っています。他施設のスタッフが力を合わせることも普段ない事なので、楽しく関わることが出来たと思います。結果を楽しみに、今後の活動にもつなげていきたいと思っています。

(東北文化学園専門学校：二本柳淳子)



全体会を開催します！



日時：10月下旬 19時～20時（予定）



タイトル：「 視覚障害者を取りまく環境 」

形式：zoom

今年度はzoomを活用し勉強会を開催します。

第1回はアイサポート仙台様よりお話をさせていただきます。

視覚に障害のある方とは毎日のように接している視能訓練士ですが、病院で関わる姿は日々の生活の中の短い時間です。

視覚に障害のある方の支援を行っているアイサポート仙台の方から活動内容、視覚に障害のある方の日々の生活や活動についてご紹介いただく予定です。

歩行訓練士、という職業を知っていますか？

アイサポート仙台には歩行訓練士の方が勤務しています。

歩行訓練士のお仕事とは？

視覚に障害のある方に関わるものとしてお互いの職種に相互理解を深めましょう。



開催は10月を予定しています。（時間は60～90分程度）

詳細は次回会報、LINE、メールでお知らせします。

みなさまの参加をお待ちしています。

担当：太田

